

次期最終処分場用地の 選定手順について

次期広域最終処分場用地選定検討委員会 審議の概要

委員会での審議テーマ

審議内容および結果

第1回	<ul style="list-style-type: none"> ● 次期最終処分場の前提条件の整理 ● 次期最終処分場用地選定における除外地域の設定 ● 一次候補地抽出の選定基準 			<ul style="list-style-type: none"> ・除外地域の妥当性 ・一次候補地抽出の選定基準の妥当性
第2回	一次候補地抽出 ↓ 一次候補地 (30か所程度)	除外地域、アクセス、建設容易性等による選定	机上調査 ・除外地域(法規制) ・アクセス性 ・建設容易性 等	<ul style="list-style-type: none"> ・一次候補地の抽出結果の妥当性 ・二次候補地の選定に向けた評価項目と評価方法の妥当性
第3回	二次候補地選定 ↓ 二次候補地 (5-10か所程度)	立地特性、自然環境、社会生活環境、防災の評価	机上調査 ・周辺民家への影響 ・土砂災害への配慮 等	<ul style="list-style-type: none"> ・二次候補地の選定結果の妥当性 ・三次候補地の選定に向けた評価項目と評価方法の妥当性
第4・5回	三次候補地選定 ↓ 三次候補地 (3か所程度)	建設適性、経済性、用地取得の評価	机上調査 現地踏査 ・現地の周辺状況 ・建設費 ・土地所有権 等	<ul style="list-style-type: none"> ・三次候補地の選定結果の妥当性 ・三次候補地の比較検討方法(総合評価)の妥当性
第6回	総合評価 ↓ 最終候補地 (1か所)	総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施設配置構想 ・概算工事費 ・評価によるランク付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価によるランク付け結果の確認 ・最終候補地の選定

選定プロセス(概要)

前提条件

一次

二次

三次

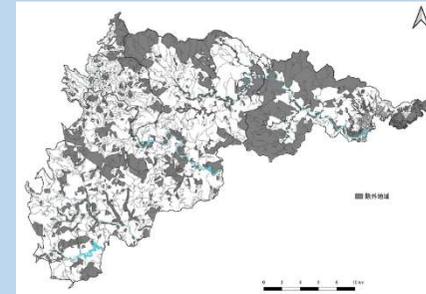
最終

前提条件の整理

- 埋立容量を5.7万m³以上、敷地面積3ha以上を確保できる土地から選定
- 広域連合清掃センターから概ね片道50kmを超える場所および日向市を除く箇所

法規制の整理
除外地域の設定

次期最終処分場用地選定を行うにあたり、開発行為に係る関係法令や法規制等により指定されている区域・地区について整理し、建設が好ましくない地域から設定

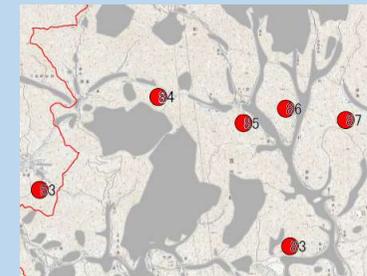


一次候補地抽出の
選定基準の設定

- ① 除外地域以外から選定する。
- ② 全体敷地面積が3ha以上である。
- ③ アクセス道路から距離が近い。
- ④ 施工面からみて造成しやすい地形である。

一次候補地の
抽出

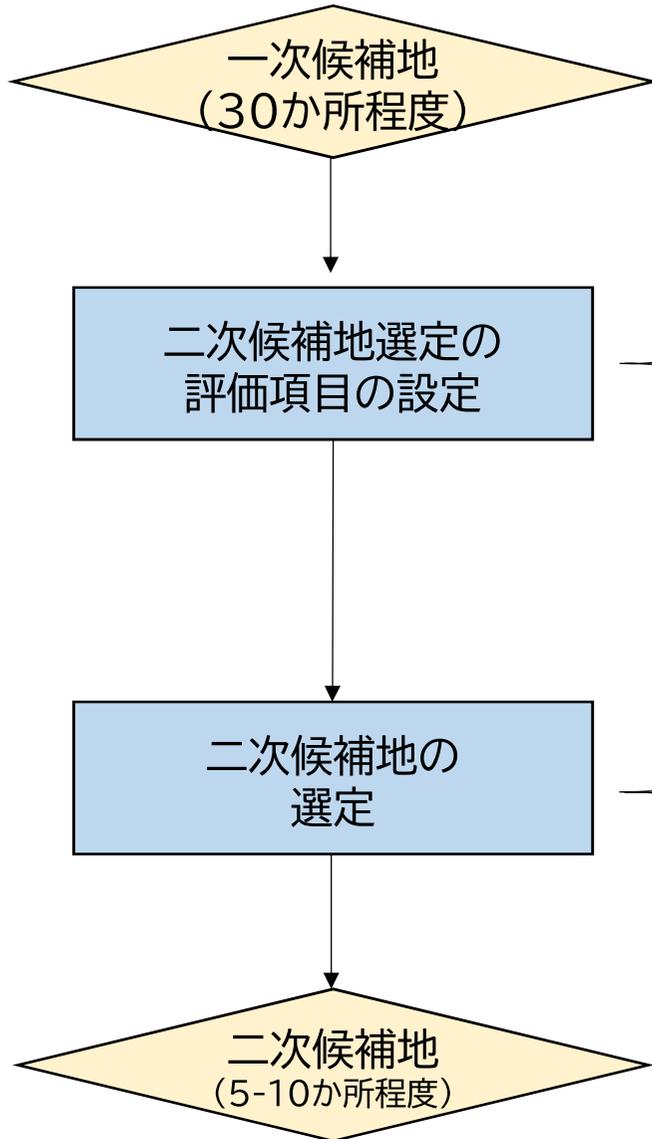
必要敷地面積が確保できる、アクセス道路から距離が近い、造成しやすい地形といった条件に当てはまる候補地を抽出する。



※イメージ

一次候補地
(30か所程度)

選定プロセス(概要)



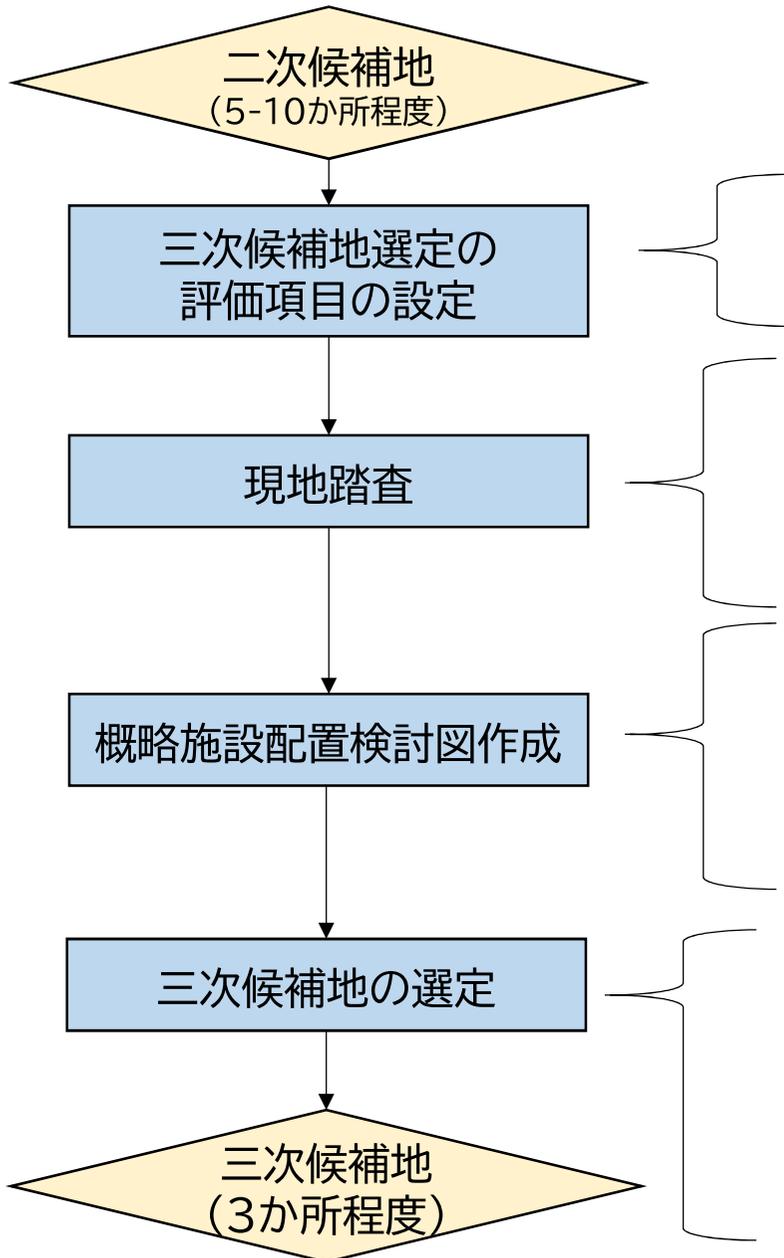
一次候補地の立地や自然条件、社会条件、環境条件の観点から二次選定に向けた評価項目と評価方法を設定する。

設定した評価項目に基づき、候補地を評価し、二次候補地を選定する。

候補地	立地特性				自然環境		社会・生活環境				防災		
	谷筋勾配	斜面勾配	搬入道路	運搬距離	植生自然度	希少野生動物・植物	土地利用状況	農業振興地域	公共施設	周辺民家等	水道水源	土砂災害警戒区域等	浸水想定区域
A	◎	○	◎	△	◎	△	◎	△	◎	○	○	◎	◎
B	◎	◎	△	◎	○	△	○	◎	○	○	○	△	◎
C	○	△	◎	○	○	△	△	○	○	△	◎	△	△
D	○	△	◎	○	△	◎	◎	△	△	○	○	◎	◎

※イメージ

選定プロセス(概要)



経済性、事業実現性の観点から三次選定に向けた評価項目を設定する。

地図や航空写真では把握が困難な周辺状況、対象地の地形・地質・地下水の分布や地盤の物理的性状を把握する。



※イメージ

概略施設配置検討図を作成して建設可能性を検証し、造成及び施設配置の容易性について評価を行う。



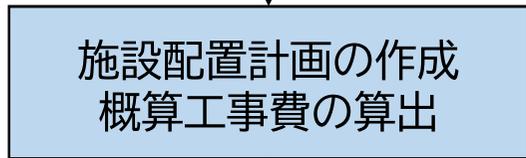
※イメージ

二次評価結果、文献資料調査及び現地踏査、概略配置検討図等に基づき、候補地を評価し、三次候補地を選定する。

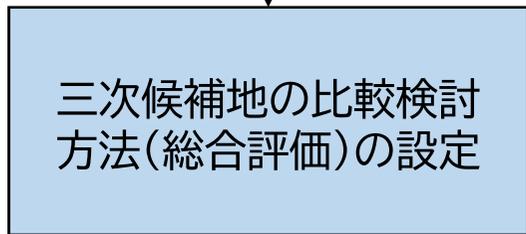
候補地		A	B	C
立地特性	進入道路	◎	○	◎
	取付難易度	◎	◎	◎
	道路延長	△	◎	△
	公共道路拡張	△	◎	△
	施工性	△	◎	△
地形特性	地形特性	◎	○	◎
	敷地面積	△	△	◎
	地形・地質	△	◎	△
社会条件	土地利用状況	◎	○	◎
環境条件	周辺環境	◎	◎	○

※イメージ

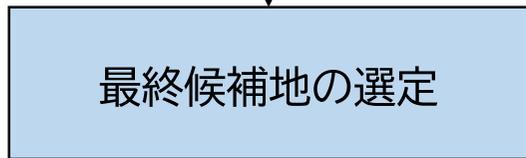
選定プロセス(概要)



現地に即した施設の全体配置、埋立構造、浸出水処理方法、防災対策など、処分場建設にかかる基本的な計画を策定する。また、配置図に基づき、概算数量を算出し、概算事業費を算定する。



三次候補地について、これまでの評価結果、現地踏査結果、施設配置構想図の作成、概算工事費の算出を踏まえて評価することによりランク付けを行う。



総合評価結果に基づき、最終候補地を選定する。



候補地	評価項目	評価	総合評価
候補地A	施設配置	優	A
候補地B	施設配置	良	B
候補地C	施設配置	可	C

※イメージ

各選定段階における評価内容(案)

段階	評価項目	評価項目の概要	選定方法	協議時期
一次選定	除外地域以外の場所	法規制や土地利用、環境保全等の観点より、最終処分場の建設が好ましくない地域以外の場所	地形図上で条件に当てはまる候補地を抽出	第1回委員会で協議・決定
	敷地面積の確保	必要敷地面積3ha以上が確保できる地形。		
	アクセス面	幹線道路から距離が近い。		
	施工面	既存地形が活用しやすい等の切土や盛土が必要最低限で済むと地形図から判断できる地形。		
二次選定	立地特性	幹線道路や清掃センターまでの距離、地形勾配から適性を評価する。	各項目の◎、○、△より点数化し選定	第2回委員会で協議
	自然環境	候補地の植生自然度から適性を評価する。		
	社会・生活環境	住宅や公共施設等の立地状況、営農保全に影響を及ぼす地域、水道水源の距離等、社会環境や生活環境に支障や影響から適性を評価する。		
	防災	土砂災害警戒区域や浸水想定区域等から災害の危険性を評価する。		
三次選定	二次選定項目	現地踏査結果を踏まえて、二次選定における机上調査結果の不足箇所を補い、再評価する。	各項目の◎、○、△より点数化し選定(項目の重みづけあり)	第3・4回委員会で協議
	建設適性	現地踏査や概略施設配置図をもとに、造成や施設建設の容易性や施工規模等を把握し、評価する。		
	経済性	概略施設配置図をもとに、施工費や用地取得費等を算定し、評価する。		
	用地取得	公有地・私有地といった候補地の所有区分から評価する。		
最終選定	総合評価	三次候補地における施設配置計画を作成し、候補地としての妥当性を検証したうえで、これまでの評価結果を踏まえて総合的に評価する。	これまでの評価結果と施設配置計画等の詳細検討に基づき、総合的に評価・ランク付けし選定	第5・6回委員会で協議

各選定段階における公表の有無

次期広域最終処分場用地選定検討委員会において、各選定段階における公表の有無と公表内容を以下に示す。

段階	公表内容 (○:公表 ×:非公表)		
	旧町村ごとの候補地数	位置 (大字程度)	位置 (詳細)
一次候補地	○	×	×
二次候補地	○	○	×
三次候補地			○
最終候補地			○